

設定手順マニュアル

品名	KES IoT Logic for CPTrans
型番	KILC12-LM*
版数	1.0

株式会社金沢エンジニアリングシステムズ 製作著作 © Kanazawa Engineering Systems Inc.

© Kanazawa Engineering Systems Inc.

1. 内容

2.	はじ	こめに	3
3.	設定	至手順	3
	3.1.	Docker 環境の確認	3
	3.2.	Docker イメージロードからイメージ起動	3
	3.3.	ubuntu 環境の IP アドレスを確認	3
	3.4.	初期設定の保存	3
	3.5.	デバイス設定の保存	5
	3.6.	設定ファイルの保存	5
	3.7.	GW の設定ファイルを GW へ書き込む	5
	3.8.	SIM 情報変更手順1	.1
	3.9.	パスワード変更手順(Web GUI)1	.4
	3.10.	IP アドレス変更手順1	.6
4.	操作	手手順1	.8
	4.1.	ユーザー認証1	.8
	4.1.	1. 初回起動時の設定1	.8
	4.1.2	2. 2 回目以降の起動時	20
	4.2.	初期設定	21
	4.2.	1. 初期設定①2	21
	4.2.2	2. 初期設定②	22
	4.2.3	3. 初期設定③	39
	4.2.4	4. 初期設定④	3
	4.3.	デバイス設定4	4
	4.3.	1. デバイス設定4	4
	4.3.2	2. プロトコル設定	6
	4.3.3	3. サンプリングデバイス設定5	68
	4.3.4	4. クラウドとのタグ設定	54
	4.4.	バックアップ	'5
	4.4.	1. 設定内容のバックアップ	'5
5.	共通	操作7	'6
	5.1.	CSV のインポート、エクスポートについて	'6
	5.1.	1. CSV からのインポート	'7
	5.1.2	2. CSV からのインポート	'9

2. はじめに

Windows PC(OS:windows10 64 ビット)の環境にて Docker を起動し、GW へ設定ファイルをインストー ルする手順について説明します。このマニュアルは、以下の操作のために必要な Docker の知識のある方 を対象に記載しています。

3. 設定手順

3.1. Docker 環境の確認

Linux 環境にて「docker version」コマンドを入力し Docker のバージョンが表示されることを確認してください。

※WindowsPC の場合は WSL2 をインストール後 Microsoft Store から「Windows Subsystem for Linux」 と「Ubuntu」をインストールし、Docker をインストールしてください。

3.2. Docker イメージロードからイメージ起動

①:Docker イメージ

CPT_dockerimage_v2.tar

- を任意の場所に保存します
- ②:コマンドプロンプトを起動し、①の場所まで移動します
- ③:下記コマンドを実施しイメージをロードします

docker load < CPT_dockerimage_v2.tar

④:下記コマンドを実施し docker イメージを起動(xxxx は任意の文字列)します

docker container run --name xxxx -d -it -p 80:80 cptrans_images5

- 3.3. ubuntu 環境の IP アドレスを確認
 - ①:下記コマンドを実施し、IP アドレスを表示します ip -br address
- **3.4.** 初期設定の保存

PC でブラウザ(Google Chrome)を立ち上げ、3.3 で確認した IP アドレスのポート 80 に接続します
 http://IP アドレス:80

②:ログイン画面が表示されるので、ユーザー名(admin)とパスワード(12345678)を入力し、"ログ イン"を押下します

・ユーザー名またはパスワードの入力に誤りがあった場合は、再度ログイン画面が表示されます

 ♥ ● 172.16.200.155 X + 		– 🗆 X
	☆	ជា 💶 🔹 :
ログイン http://11.**(10/15): このサイトへの接換ではプライバシーが保護されません ユーザー名 パスワード ログイン キャンセル		

③:KES IoT Logic の GUI が立ち上がるので初期設定を任意に設定します ※初期設定①と④などは読み取り専用のため変更できません

KES IoT Logic	× +					×
← → C ▲ 保護されていない	通信 172.16.200.155			☆ ♪ (:
KES IoT Logic	=			€ ゲートウェイ再起	Ēb	÷
		Fein.	3	4		
¥=⊐-	初期設定①	初期設定②	初期設定③	初期設定④		
『 初期設定		上位接続ルート設定			-	
ほデバイス設定	6	上位接続ルート選択				
む バックアップ		モバイル回線設定		~		
		モバイル回線設定				
		APN	(半角で入力して下さい)		
		ユーザー名	(半角で入力して下さい)		
		パスワード	(半角で入力して下さい)		

④:初期設定が完了したら保存を押下します

× +				-	o x
通信 172.16.200.155				☆ ひ □	a :
≡			:	℃ ゲートウェイ再起動	:
初期設定	g定1~4まで順番に設定して下	the second se	6	•	
	刀期設定①	初期設定②	初期設定③	初期設定④	
		下位接続LAN設定			
		LAN設定			
6	•	IPアドレス	(半角で入力して下さい	例:192.168.10.1)	
		192.168.253.253			
		サブネットマスク	(半角で入力して下さい	例:255.255.255.0)	
		255.255.255.0			
				保存次へ戻	3
	× + 通 172.16.200.155	 * * 御前設定 設定1~4まで隔番に設定して下 1 初期設定① 	★ + 配 172.16.200.155 初期設定 初期設定① 初期設定② 7位接続LAN設定 PFLZ 192.166.253.253 97ネットマスク 255.255.255.0	X + Image: 172.16.200.155 1 Image: 172.16.200.15.200.	x +

3.5. デバイス設定の保存

①:デバイス設定を任意に設定します

②:クラウドとタグ設定まで入力が完了したら保存を押下します

3.6. 設定ファイルの保存

①:バックアップ画面で設定内容のバックアップを実行します

3 つのファイル(kesiotlogic_1.signed,kesiotlogic_2.signed, kesiotlogic_db_1.signed)が PC にダウン ロードされます



3.7. GW の設定ファイルを GW へ書き込む

①: PC の IP アドレスを 192.168.253.* (*は 1~252 の任意の数字)に設定します

②:GWのLAN1ポートとPCのLANポートを接続します

③:GW の電源を ON にします

④: PC でブラウザ(Google Chrome)を立ち上げ、192.168.253.253 に接続します

⑤: ログイン画面が表示されますので、ユーザー名(admin)とパスワード(manager)を入力し、"ログイン"を押下します

♥ ③ 192.168.253.253 × +			-	×
← → C ① 192.168.253.253		*	Ď	:
	ログイン http://192.168.253.253 このサイトへの接続ではプライパシーが保護されません ユーザー名 パスワード ログイン キャンセル			

⑥:アップデートアイコンを選択します

192.168.253.253	×	+						~	-	E	×
← → C (▲	保護されていない通	信 192.168.253.253	l.				Ê	*	اك ♦		
PTrans	s-MJW							_		[日本語、
‡	((*))			KES LODIC	KES IOT Lagic	少			C		
システム	ルーター	バンド選択	設定管理	KES IoT Logic	Data Setting	計画リブート	リモート保守	アッ	プデ-	- Ի	

⑦:手動アップデート(ブラウザから)を選択します



⑧:ファイルを選択を実施し、3-6 でダウンロードしたファイル(kesiotlogic_1.signed)を選択し、送信を実施します



⑨:アップロードが完了したらホームへ戻り、システム⇒about⇒再起動(本体)を実施します



⑩:リロード指示が表示されたらホームへ戻り、再度アップデートアイコンを選択します ~ – 🗆 X 192.168.253.253 × + ← → C ▲ 保護されていない通信 | 192.168.253.253 🖻 ★ 🛸 🖬 😩 🗄 日本語 🖌 **CPTrans-MJW** KES Logic ((•)) KES LODIC P 台 . 9 システム ルーター バンド選択 設定管理 KES IoT Logic Data Setting 計画リブート リモート保守 アップデート

①:手動アップデート(ブラウザから)を選択します



 $⑫: ファイルを選択を実施し、3-6 でダウンロードしたファイル(kesiotlogic_2.signed)を選択し、送信を実施します$



③:アップロードが完了したらホームへ戻り、システム⇒about⇒再起動(本体)を実施します

✓ ■ 192.168.253.253/menu.fcgi?ap) × +				-		×
← → C ▲ 保護されていない通信 192.168.253.253/menu:	cgi?appid=system⟨=ja&link=/manage.fcg	i%3fappid=system%26lang=ja	\$ 2) C		:
CPTrans-MJW					日本語	*
 ・ このアプリケーションについて ・ CLI設定 ・ Web GUI 設定 ・ SIMビンロック設定 ・ デバイス固有情報 ・ その他の設定 ・ ブロセス状態 ・ about ・ ホームへ戻る 	テム ^{に戻す} lout)					

(4):リロード指示が表示されたらホームへ戻り、再度アップデートアイコンを選択します

192.168.253	.253 ×	+							~	· _ ·		×
$\leftrightarrow \ \ \rightarrow \ \ G$	▲ 保護されていない通	信 192.168.253.253	3				Ê	*	*	坐	•	E I
CPTrai	ns-MJW							_				本語 🖌
\$	((+)) CELLO	?		KES Logic	KES Logic	()			2	3		
システム	ルーター	パンド選択	設定管理	KES IoT Logic	Data Setting	計画リブート	リモート保守	ア	ップき	デー	~	

(5):手動アップデート(ブラウザから)を選択します

♥ ■ 192.168.253.253/menu.fcgi?lan × +				-		×		
	→ C 🛆 保護されていない通信 192.168.253.253/menu.fcgi?lang=ja&appid=updater							
CPTrans-MJW				E	日本語	~		
☑アップデート	アップデート アプリケーション							
 <u>このアブリケーションについて</u> <u>手動アップデート(ブラウザから)</u> 自動アップデート 	メニューから設定項目を選択してください。							
 ● 基本設定 ● 実行 ○ フテータフ 								
 管理 クプロセス状態 about 								
 <u>ホームへ戻る</u> 								

⑥:ファイルを選択を実施し、3-6 でダウンロードしたファイル(kesiotlogic_db_1.signed)を選択し、
 送信を実施します



①:アップロードが完了したらホームへ戻り、システム⇒about⇒再起動(本体)を実施します



3.8. SIM 情報変更手順

①: PCのIPアドレスを 192.168.253.* (*は1~252の任意の数字)に設定します

- ②:GW の LAN1 ポートと PC の LAN ポートを接続します
- ③:GW の電源を ON にします

④: PC でブラウザ(Google Chrome)を立ち上げ、192.168.253.253 に接続します

⑤:ログイン画面が表示されますので、ユーザー名(admin)とパスワード(manager)を入力し、"ログ イン"を押下します

✓ ③ 192.168.253.253 × +		- 🗆 X
← → C ② 192.168.253.253		* 10 🛎 :
	ログイン http://192.168.253.253 このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません ユーザー名 パスワード ログイン キャンセル	

⑥:ルータアイコンを選択します

192.168.253	.253 X	+						~	-		×
\leftrightarrow \rightarrow G	▲ 保護されていない通	通信 192.1 <mark>68.253.25</mark> 3					Ŕ	* 1	⊻⊧		2 :
CPTrai	าร <mark>-MJW</mark>									E	本語 🖌
‡	((+))	?		KES IOT Logic	KES IOT Lagic	C)			\mathbb{C}		
システム	ルーター	バンド選択	設定管理	KES IoT Logic	Data Setting	計画リブート	リモート保守	アッ	プデー	· ト	

⑦:WAN 設定-APN1 を選択します

→ 🕅 192.168.253.253/menu.fcgi?lan × +	к.	- 🗆 X	
← → C ▲ 保護されていない通信 192	.168.253.253/menu.fcgi?lang=ja&appid=router	\$) I 🛛 😩 i	
<u>CPTrans-MJW</u>	-	日本語 🖌	*
	ルーター アプリケーション		
 <u>このアプリケーションについて</u> LAN 設定 <u>DHCP・DZ設定</u> <u>DHCP・DNS</u> <u>DHCP・J(の割当状況</u> Ether 設定 <u>Ether状ート設定</u> <u>Ether状ートステータス</u> 無線LAN 設定 <u>基本設定</u> <u>増雪化設定</u> <u>アクセス制御</u> <u>技続状態</u> WAN 設定 <u>基本設定</u> <u>基本設定</u> <u>APN1</u> <u>APN3</u> <u>APN4</u> <u>APN5</u> 	メニューから設定項目を選択してください。		

⑧:基本設定を修正します

Y 192.366255253/memu/op/Tep: - 8	*		-	۵	×
← → Ø (▲ ##################################	2.168.253.253/menu.fcg/?appid=router⟨=ja&link=/conf.tog/%3fappid=router%26index=3.1%26lang=ja 👘 🏠	٥	D	1	-
CPTrans-MJW				1218	v
■ルーター ・ このアブリケーションについて	APN1				
 LAN 設定 IPアドレス設定 DHCP+DNS DHCPサーバの割当状況 Ether 設定 Ether 設定 Etherボート設定 Etherボートステータス 無線LAN 設定 基本設定 目的化設定 アンセス利潤 過防状態 WAN 設定 基本設定 基本設定 支払状態 WAN 設定 基本設定 APN1 	APN名 ユーザ名 ユーザ名 バスワード 総証方式 AUTO × ロネットマスクを上書きする ペットマスクの上書き値<00000000				

⑨:画面下までスクロールし、保存を押下します

接続状態	
現在の接続状態	
接続ステート	切断 🖌
WAN IPアドレス	
WAN ネットマスク	0.0.0.0
ゲートウエイIPアドレス	
プライマリDNS IPアドレス	
セカンダリDNS IPアドレス	
IPv6 WAN IPアドレス	
IPv6 ゲートウエイIPアドレス	
IPv6 プライマリDNS IPアドレス	
IPv6 セカンダリDNS IPアドレス	
WANポート受信パイト数	0
WANポート受信パケット数	0
WANポート送信パイト数	0
WANボート送信パケット数	0
接続 ⑦ 切断 (保存)	
© Hitachi Industrial Equipment Systems Co.,Ltd. 2020. All rights reserved.	

⑩:ホームへ戻り、システム⇒about⇒再起動(本体)を実施します



3.9. パスワード変更手順(Web GUI)

①: PCのIPアドレスを 192.168.253.* (*は1~252の任意の数字)に設定します

②:GW の LAN1 ポートと PC の LAN ポートを接続します

③:GW の電源を ON にします

④: PC でブラウザ(Google Chrome)を立ち上げ、192.168.253.253 に接続します

⑤: ログイン画面が表示されますので、ユーザー名(admin)とパスワード(manager)を入力し、"ログ イン"を押下します

• 3 192.168.253.253 × +		- 🗆 X
← → C ① 192.168.253.253		* 🖸 🛯 😩 :
	ログイン http://192.168.253.253 このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません ユーザー名 パスワード ログイン キャンセル	

⑥:システムアイコンを選択します

192.168.253.2	253 ×	+						~	-		×
$\leftrightarrow \ \ni \ G$	▲ 保護されていない通	192.168.253.253					Ē	* *	₹		1
CPTra r	ns-MJW									日本	(語 >
は システム	((+)) ロロロ ルーター	で、アンド選択	設定管理	KES KES IoT Logic	Data Setting	計画リブート	リモート保守	アップ) 77-	۲	

⑦:Web GUI 設定のパスワードを変更し、保存を実施します

▶ 192.168.253.253/menu.fcgi?ap; × +			-		×
← → C ▲ 保護されていない通信 192.	168.253.253/menu.fcgi?appid=system⟨=ja&link=/conf.fcgi%3fappid=system%26index=1%26lang=ja	Ð		-	:
<u>CPTrans-MJW</u>			į	日本語	*
₿₽ステム	Web GUI 設定				
 このアプリケーションについて CLI設定 Web GUI 設定 SIMピンロック設定 デバイス固有情報 その他の設定 管理 ブロセス状態 about ホームへ戻る 	 2 Web GUI(HTTP)を有効にする 言語 回本語▼ ポート番号(80) 2 バスワードを有効にする ユーザ名 admin パスワード 「スワード (保存) 				

⑧:ホームへ戻り、システム⇒about⇒再起動(本体)を実施します



3.10. IP アドレス変更手順

①: PCのIPアドレスを 192.168.253.* (*は1~252の任意の数字)に設定します

②:GW の LAN1 ポートと PC の LAN ポートを接続します

③:GWの電源をONにします

④: PC でブラウザ(Google Chrome)を立ち上げ、192.168.253.253 に接続します

⑤:ログイン画面が表示されますので、ユーザー名(admin)とパスワード(manager)を入力し、"ログ イン"を押下します

 ✓ ③ 192.168.253.253 × + 		- 🗆 X
← → ♂ ③ 192.168.253.253		* Ď 🗆 🛎 E
	ログイン http://192.168.253.253 このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません ユーザー名 パスワード ログイン キャンセル	

⑥:ルータアイコンを選択します



⑦:IP アドレス設定を選択します

← → C △保護されていない通信 192.168.253.253/menu.fcgi?lang=ja&appid=router	r 🖸 🖬 😩 🗄
CPTrans-MJW	日本語 🗸
 ・ このアプリケーションについて ・ LAN 設定 ・ <u>DHCP+DNS</u> ・ <u>DHCP+-/(の割当状況</u> ・ Ether 設定 ・ <u>Etherボート設定</u> ・ <u>Etherボート設定</u> ・ <u>Etherボートステータス</u> 	

♥ 🔳 192.168.253.253/menu.fcgi?app 🗙 +				-		×
← → C ▲ 保護されていない通信 192	.168.253.253/menu.fcgi?appid=router⟨=ja&link=/conf.fcgi%3fappid=router%26index=0.0%26lang=ja	☆	Ð		1	:
<u>CPTrans-MJW</u>					日本語	~
¹ Ⅲルーター	IPアドレス設定					
 <u>このアプリケーションについて</u> LAN 設定 IPアドレス設定 DHCP・DNS DHCPサーバの割当状況 Ether 設定 Ether 設定 Ether 設定 	IPアドレス 192.168.10.49 サブネットマスク 255.255.0(/24) ◆ □IPアドレスの重複をチェックする 像存					
 <u>Etherポートステータス</u> 						

⑨:ホームへ戻り、システム⇒about⇒再起動(本体)を実施します

▶ 192.168.253.253/menu.fcgi?app ×	+	- 🗆 X
← → C ▲ 保護されていない通信	192.168.253.253/menu.fcgi?appid=system⟨=ja&link=/manage.fcgi%3fappid=system%26lang=ja	☆ ひ □ ≗ :
<u>CPTrans-MJW</u>		日本語▼
 システム このアプリケーションについて CLI設定 Web GUI 設定 SIMピンロック設定 デバイス固有情報 その他の設定 管理 ブロセス状態 about ホームへ戻る 	 システム 西辺(本体) 設定を工場出荷時に戻す ログ1(stdout) 	

※IP アドレスのネットワーク部を 192.168.253 以外に変更した場合、3.7~3.10 の手順の①と④の 設定は、変更したネットワーク部及び IP アドレスにしてください 4. 操作手順

本章では Docker イメージ起動後の設定画面の操作方法について説明します。

4.1. ユーザー認証

GUI の起動時にユーザー認証を行います。

4.1.1. 初回起動時の設定

- ① PC でブラウザ(Google Chrome)を立ち上げ、localhost に接続します。
- ログイン画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力し、"ログイン"をクリックします。
 - ・キャンセルをクリックするとエラー画面が表示されます。
 ログイン画面に戻る場合は、ページを再読み込みしてください。
 - ・ユーザー名またはパスワードの入力に誤りがあった場合は、
 再度ログイン画面が表示されます。

192.168.253.253 ×		0 – 🗆 ×
← → C 0		☆ :
← ⇒ C 0	認証が必要です http://192.168.253.253 	* :
[初期設定内容]		

本製品の工場出荷時のユーザー名とパスワードは、以下の通りです。

項目	入力值	
ユーザー名	admin	user
パスワード	12345678	12345678

 [ユーザーの権限]

 管理者ユーザー(admin)と一般ユーザー(user)で設定・確認できる権限は、以下の通りです。

 メニュー項目
 設定・確認できる権限

 管理者(admin)
 一般(user)

 初期設定
 〇
 ×(**1)

 デバイス設定
 〇
 〇

 バックアップ
 〇
 〇

※1 管理者(admin)のユーザー設定のアカウントロール設定で変更できます。

 ③ ユーザー設定画面が表示されるので、新しいパスワード(半角英数字8文字以上)と確認用パスワード (新しいパスワードをもう一度入力)を入力して"保存"をクリックしてください。

※"キャンセル"をクリックしても画面は推移しますが、初期パスワードの変更をお勧めします。

Bittatiop *			0 - 0	×
← Ø @ 192.168.253.253			٣	\$ 1
KES IoT Logic	=		07-121-7868	I
In way on	ユーザー設定			
2-34	/CCO-FOREELTTEN	10733-PERMUTICENI		
62-9-88	3-9-6			
	BG/VC22-F	(#####################################		
	4-05304EB			
			保存 キャンセル	

④ 再度ログイン画面が表示されますので、ユーザー名と設定したパスワードを入力してログインします。

Catholine with		0 - U ×
♦ X ⊕ HE HADDLES		* N + 1 1
KES IoT Logic	Ettreft Services 344	ре-124 (Кар) Г
		817 745824

- 4.1.2. 2回目以降の起動時
- ① PC でブラウザ(Google Chrome)を立ち上げ、localhost に接続します。
- ログイン画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力し、"ログイン"をクリックします。
 - ・キャンセルをクリックするとエラー画面が表示されます。
 ログイン画面に戻る場合は、ページを再読み込みしてください。
 - ・ユーザー名またはパスワードの入力に誤りがあった場合は、

再度ログイン画面が表示されます。

/ 192.168.253.253 ×	θ - □ ×
← → C 0	\$
← → C ①	x

4.2. 初期設定

クラウドの設定やゲートウェイの設定をすることができます。

4.2.1. 初期設定①

4.2.1.1. 上位接続ルート選択

上位接続ルートは「モバイル回線設定」に固定されています。この画面では設定は出来ません。

	-0	U	
40788890E(X)	初期開始定2	4088892E(3)	初期設定③
	上位接続ルート設定		
6	上位接続ルート選択		
	モバイル回線設定		~
1	モバイル回線設定		
	APN	(半身で入力して下さい)	
	ユーザー名	(牛角で入力して下さい)	
	バスワード	(半角で入力して下さい)	

4.2.2. 初期設定②

4.2.2.1. AWS

クラウド選択、AWS IoT Thingの設定をすることができます。

U		U.	0
初期設定①	初期設定(2)	初期設定③	初期設定@
	クラウド設定		
	クラウド選択		
	AWS IoT Thing		
	Thing設定		
	エンドポイント	(平角で入力し	て下さい)
a 224 224	モノの名前		
	D2C		
	-		
	C2D		
	CASTRE		
	ファイル選択		
	プライベートキー		
	J J T T JUALIN		

[設定項目]

クラウド設定	
項目	説明
クラウド選択	使用するクラウドサービスを選択します。
Thing 設定	
項目	説明
エンドポイント	AWS IoT のエンドポイント名前を入力します。
モノの名前	AWS IoT へ接続するためのモノの名前を入力します。
D2C	D2C 機能を選択します。
	none:機能なし
	publish:publish 機能が有効になる
• D2C=publish	
Publish トピック	Publish トピックを入力します。
Publish タグ	Publish タグを入力します。
Publish シーケンス	Publish シーケンスを入力します。
Publish メッセージメ	Publish メッセージメンバーを入力します。
ンバー	
項目	説明
C2D	C2D 機能を選択します。
	none:機能なし
	subscribe:subcribe 機能が有効になる
• C2D=subscribe	
Subscribe トピック	Subscribe トピックを入力します。
項目	説明
CA 証明書	AWS IoT へ接続するための証明書を選択します。
プライベートキー	AWS IoT へ接続するためのプライベートキーを選択します。

クラウドは"AWS"、プロトコルは"MQTT"となります。

エンドポイントの確認方法、モノの作成を行います。

<前提>

・AWS アカウントを作成してください。

・AWS マネージメントコンソールより「IoT Core」コンソールのページを移動してください。





証明書、キーをダウンロードし、ファイル保 存しておきます。

「完了」へ進みます。ここまでで「モノの作 成」は完了です。 ②にて保存したエンドポイント名を「エンドポイント」の欄に入力します。
⑥にて保存したモノの名前を「モノの名前」の欄に入力します。
⑧にてダウンロードした、モノの証明書、パブリックキー、プライベートキーをそれぞれ「ファイル 選択」にて、指定します。

設定値を入力したら、"次へ"をクリックします。

初期設定①	初期設定②	初期設定③	初期設定④
	クラウド設定		
	クラウド選択		
	AWS IoT Thing		•
- X	Thing設定		
(manual based on the second of	エンドポイント	(半角で入力して下	さい)
	A. C. C. Sugar in sugar	er 5 er in standen statut	
	モノの名前		
	conexio sample2		
	D2C		
	none		•
	C2D		122
	none		*
	CA証明書 ファイル選択		
	10df ab 301 5-certificate per	er cat	
	ブライベートキー		
	ファイル選択		
	1 Seil ab fait Specieure merrie	er.	
	and and a minute being	28.	

4.2.2.2. Azure

クラウド選択、Microsoft Azure IoT Deviceの設定をすることができます。

	2		-0
初期的定心	初期設定②	初期的定到	初期設定④
•	クラウド設定		
	クラウド選択		
	Microsoft Azure IoT Device		~
N	IoT Device設定		
	loTHub名	(半角で入力して下さい)	
	D2C/C2Dメッセージ用		
	デバイスID	(半角で入力して下さい)	
	アクセスキー	(半角で入力して下さい)	
	DirectMethod		
	メソッド名	(半角で入力して下さい)	

保存 次へ 戻る

[設定項目]

クラウド設定	
項目	説明
クラウド選択	使用するクラウドサービスを選択します。
IoT Device 設定	
項目	説明
IoTHub 名	ゲートウェイとの通信に使用する Azure IoT Hub の名前を入
	力します。
D2C/C2D メッセージ用	
項目	説明
デバイス ID	D2C (デバイス→クラウド)メッセージ用のデバイス ID を入力
	します。
アクセスキー	D2C メッセージ用のデバイス ID に対応するアクセスキーを
	入力します。接続文字列とは異なるので注意してください。
DirectMethod	
項目	説明
メソッド名	ダイレクトメソッド用(結果を即座に確認することが求められ
	る通信)のメソッド名を入力します。

クラウドは"Microsoft Azure"、プロトコルは"MQTT"となります。

IoTHub 名の確認方法

<前提>

・Microsoft Azure アカウントを作成してください。

・Azure ポータルより「IoT Core」コンソールのページを移動してください。

・「リソースの作成」、「モノのインターネット (IoT)」「IoTHub」へ進み、IoTHub を作成してください。

① リソースグループを選択。

Microsoft Azure 19-	-スグループ	<u>>_</u> ¢ Ω >_ @	
	リソース グループ 株式会社会オエンジニアングンステムズ		
+ stat	+追加 🌵 かびの割り目で 副目列 👌 更新		
まべてのリソース	サブスクリプション: Microsoft Azure		
📦 リソースグループ	名前でフィルター	すべての場所	*
App Service	2 項目 8.00 1.	972903900 ⁺ 1	e x 1
🧧 SQL データペース	(ResGroup	Microsoft Azure	百日本
📬 SQL デ9 ウェアハウス	🔲 🕼 test	Microsoft Azure	西日本
🦉 Azure Cosmos DB			
🜉 Virtual Machines			
-שלפא א-ם			
🔜 ストレージ アカウント			

② IoTHub 名を選択。



この IoT Hub の名前をメモ帳などで保存し ます。

・デバイス ID、アクセスキーの確認方法

 使用する IoTHub を選択し、デバイス エクスプローラーをクリックして、確 認するデバイス ID を選択します。



 デバイス ID とアクセスキーを確認で きます。



この「デバイス ID」「プライマリーキー」を メモ帳などで保存します。



・②、④で保存した IoTHub 名、デバイス ID、プライマリーキーを入力します。
 設定値を入力したら、"次へ"をクリックします。

271H72012111	約月月2日21(2)	初期192113)	¥万田月2日・1/4)
•	クラウド設定		
	クラウド選択		
	Microsoft Azure IoT Device		~
	IoT Device設定		
	IoTHub名	(半角で人力して下さい)	
-	iohubname		
	D2C/C2Dメッセージ用		
an an an	デバイスID	(牛角で入力して下さい)	
	deviceid		
	アクセスキー	(牛肉で入力して下さい)	
	devicekey		



4.2.2.3. IoT Core Connect

クラウド選択、SB テクノロジーIoT Core Connect の設定をすることができます。

初期設定①	初期設定②	初期設定③	初期設定创
	クラウド設定		
	シラウト選択 SBテクノロジー IoT Core C	Connect	~
	IoT Core Connect設定		
	1-711-5		
	IO I HUD	(半角で入力して下さい)	
	D2C/C2Dメッセージ用		
	デバイスID	(半角で入力して下さい)	
	マクセフェー	(# 07) 1 (7 3)	
	/////	(+)(<)(+)(<)(+)()	
	DirectMethod		
	メソッド名	(羊身で入力して下さい)	
	ICCデバイス情報設定		
	ICCデバイスID		
	ICCデバイスタイプ		
	ICCデバイスバージョン		



[設定項目]

クラウド設定		
項目	説明	
クラウド選択	使用するクラウドサービスを選択します。	
IoT Device 設定		
項目	説明	
IoTHub 名	ゲートウェイとの通信に使用する ICC IoT Hub の名前を入力	
	します。	
D2C/C2D メッセージ用		
項目	説明	
デバイス ID	D2C (デバイス→クラウド)メッセージ用のデバイス ID を入力	
	します。	
アクセスキー	D2C メッセージ用のデバイス ID に対応するアクセスキーを	
	入力します。接続文字列とは異なるので注意してください。	
DirectMethod		
項目	説明	
メソッド名	ダイレクトメソッド用(結果を即座に確認することが求められ	
	る通信)のメソッド名を入力します。	
ICC デバイス情報設定		
項目	説明	
ICC テナント ID	テナント ID を入力します。	
ICC デバイス ID	デバイス ID を入力します。	
ICC デバイスタイプ	デバイスタイプを入力します。	
ICC デバイスバージョ	デバイスバージョンを入力します。	

設定値を入力したら、"次へ"をクリックします。



4.2.2.4. Machine Advisor

クラウド選択、EcoStruxure Machine Advisorの設定をすることができます。

初期設定 設定1~4まで映解に設定して下さい	2	3	
初期設定①	初期設定②	初期推定定③	初期設定③
	クラウド設定		A
	クラウド溜切		
	EcoStruxure Machine Adv	risor	~
	EcoStruxure Machine	Advisor設定	
	Server		
	Token		
			·
			保存 次へ 戻る



[設定項目]

クラウド設定		
項目	説明	
クラウド選択	使用するクラウドサービスを選択します。	
EcoStruxure Machine Advisor 設定		
項目	説明	
Server	Server の設定を入力します。	
Token	トークンの設定を入力します。	

設定値を入力したら、"次へ"をクリックします。



4.2.2.5. 汎用 MQTT サービス

クラウド選択、汎用クラウド(MQTT)の設定をすることができます。

	初期提近(1)	初期設立了	初期設定(3)	初期設定主
クラクド選択 第月MAGTプロトコル年用) MCT認定 2010 1000 1000000000000000000000000000000000000	•	クラウド設定		
第項(MOTTグロトコル利用) MOTTS2E Subscribe トピック (学育て入力して下さい) Subscribe トピック (学育て入力してーン) Subscribe トピック (学育て入力して一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一		クラウド選択		
MOTTBE エンドポイント (##T.AカルしてFels) Publish Fビック (##T.AカルしてFels) Subscribe Fビック (##T.AカルしてFels) Subscribe Fビック (##T.AカルしてFels) S00 デバイスD (##T.AカルしてFels) Image: Subscribe Fビック (##T.AカルしてFels) S00 デバイスD (##T.AカルしてFels) Image: Subscribe Fビック (##T.AカルしてFels) Image: Subscribe FUNCTER Subscripter (##T.AカルしてFels) Image: Subscripter FUNCTER Subscripter (##T.AカルしてFels) Image: Subscri		汎用(MQTTプロトコル利用)		N
		MQTT設定		
Publish \K'Y2 (#用てムカレて下さい) Gubscribe \K'Y2 (#用てムカレて下さい) Gu Gupm (#用てムカレて下さい) Gu Username (#用てムカレて下さい) username (#用てムカレて下さい) Gu Username (#用てムカレて下さい) Gu Username (#用てムカレて下さい) Gu Username (#用てムカレて下さい) Gu Gupm		エンドポイント	(半角で人力して下さい)	
Subscribeトビック (伴車て入力して下さい) SG0 (伴車て入力して下さい) S00 デバイズD デバイズD (伴車で入力して下さい) username (伴車で入力して下さい) password (伴車で入力して下さい) ロー 10		Publishトビック	(半角で入力して下さい)	
安御周期 (作為て入力して下さい) 500 デバイズID デバイズID (作為て入力して下さい) username (伴身で入力して下さい) password (伴身で入力して下さい) セッションタイムアウト (伴身で入力して下さい) 10 10	ı in m	Subscribe トピック	(半角で入力して下さい)	
500 デバイズID (単角で入力して下さい) username (単角で入力して下さい) password (牛角で入力して下さい) セッションダイムアウト (牛角で入力して下さい) 10 10		受信周期	(半向で入力して下さい)	
username (件名で入力して下さい) password (件名で入力して下さい) セッションタイムアウト (件名で入力して下さい) 10		500 デバイスID	(半角で人力して下さい)	
password (件句で人力して下さい) セッションダイムアウト (件句で人力して下さい) 10		username	(牛角で入力して下さい)	
セッションダイムアウト (牛角で人力して下きい) 10		password	(牛角で入力して下さい)	
10		セッションタイムアウト	(牛角で人力して下さい)	
		10		
		セッションタイムアウト 10	〈牛角で人力して下さい〉	



[設定項目]

クラウド設定		
項目	説明	
クラウド選択	使用するクラウドサービスを選択します。	
汎用クラウド(MQTT)設定		
項目	説明	
エンドポイント	接続先の MQTT ブローカの IP アドレスや接続先となる	
	URL を入力します。	
Publish トピック	Publish トピックを入力します。	
Subscribe トピック	Subscribe トピックを入力します。	
受信周期	受信周期を入力します。	
デバイス ID	デバイス ID を入力します。	
username	ユーザー名を入力します。	
	使用しない場合は入力不要です。	
password	パスワードを入力します。	
	使用しない場合は入力不要です。	
セッションタイムアウト	セッションタイムアウトを入力します。	

設定値を入力したら、"次へ"をクリックします。


4.2.2.6. 汎用 HTTP サービス

クラウド選択、汎用(cURL 利用)の設定をすることができます。

初期限定立定	初期設立:2)初期設立	13) 初期設定(3)
	クラウド設定	
	クラウド選択	
	汎用(cURL利用)	~
1	cURL設定	
	cURL コマンドバラメータ	
aa aa aa		
	-d コマンドバラメータ	

解す 次へ 戻る



[設定項目]

クラウド設定	
項目	説明
クラウド選択	使用するクラウドサービスを選択します。
	製品モデルごとで固定となります。
汎用クラウド設定	
項目	説明
cURL コマンドパラメ	・curl に渡すパラメータを入力します。
ータ	(例)
	-X POST
	-H "Content-Type: text/plain"
	-H "Accept:application/json"
	basic -u test:test
	https://www.kesiotlogic-endpoint.co.jp/data/
-d コマンドパラメータ	・動作中に変わるパラメータ(PLC のメモリー値)等は、CURL
	コマンド専用のシステム変数("logic_data"固定)を入力します。
	(例) JSON データ
	{{logic_data}}
	・エンコードして送信する場合は、システム変数前にエンコード
	形式を[]で囲い入力します。
	(例)
	{{[BASE64]logic_data}}

設定値を入力したら、"次へ"をクリックします。



4.2.3. 初期設定③

ゲートウェイの時刻設定,アップロード共通データ設定及び、接続確認先設定をすることが できます。

初期設立工	初期就設立之	初期設立金	初期設定④
	その他設定		
	時刻設定		
	NTPによる自動取得 💿 ON 🔾 OFF		
	タイムゾーン		
. 12 .	Tokyo		~
	サーバー名	(宇角で入力して下さい)	
	ntp.nict.jp		
	アップロード共通データ設定		
	PIC収集時刻通知主一	(美価で入力)、て下さい)	
	entryDatetime	(FREAMACTER)	
	PLC収集時刻通知フォーマット	(宇角で入力して下さい)	
T \	%FT%T+09:00		
LOG	接続確認先設定		
	ICMサーバー名	(半面で入力して下さい)	
	google.co.jp		

[設定項目]

・時刻設定

項目	説明	備考
NTP による自	ゲートウェイが NTP を利用して自動的にサーバーと時	設定不可
動取得	刻を同期するかどうかを設定します。	
	ON に設定すると自動的に時刻を同期します。	



	OFF に設定すると手動時刻設定で入力した時刻を設定	
	し、以降の時刻確認は行いません。	
タイムゾーン	ゲートウェイのタイムゾーン(標準時)を選択します。	設定不可
・NTP による自動取得=ON		
サーバー名	ゲートウェイが時刻を同期するサーバー名を入力しま	設定不可
	す。	
・NTP による自動取得=OFF		
手動時刻設定	ゲートウェイに設定する時刻を入力します。	設定不可

・アップロード共通データ設定

項目	説明
PLC 収集時刻通知キー	PLC から収集する時刻通知キー名を入力します。
	※クラウド選択にて「Machine Advisor」を選択した場合は固
	定値が入ります。
PLC 収集時刻通知フォ	時刻通知するデータフォーマットを入力します。
ーマット	※クラウド選択にて「Machine Advisor」を選択した場合は固
	定値が入ります。

■PLC 収集時刻通知フォーマット 書式指定

PLC からデータを読込んだ直後の時刻を PLC 収集時刻通知フォーマット で指定された書 式指定に従って変換し、送信 JSON データ に付与します。

「変換指定子」は '%' 文字で始まり、「変換指定文字」で終端する部分を指します。使用で きる変換指定子は以下となります。

書式文字列に含まれる通常の文字は変換されずそのまま格納します。

変換指定子	説明
%a	現在のロケールにおける曜日の省略名。
%A	現在のロケールにおける曜日の完全な名前。
%b	現在のロケールにおける月の省略名。
%B	現在のロケールにおける月の完全な名前。
%с	現在のロケールにおいて一般的な日付・時刻の表記。
%С	世紀 (西暦年の上 2 桁)。 (SU)
%d	月内通算日 (10 進数表記)(01-31)。
%D	%m/%d/%y と等価。(SU)
%е	%d と同様に月内通算日を 10 進数で表現するが、 1 桁の場合 10 の位にゼロを置 かずスペースを置く_(SU)
%E	別形式を使用する際の修飾子。下記参照。(SU)
%F	%Y-%m-%d と等価 (ISO 8601 形式の日付フォーマット)。 (C99)
	ISO 8601 形式の年 (世紀も 10 進数で表す)。ISO 週数 (%V を参照)に対応した 4
%G	桁の西暦年。これは基本的には %y と同じ形式だが、ISO 週数が前年や翌年になる場
	合にはその年が使用される。(TZ)
%g	%G と同様。但し、世紀を含まず下 2 桁のみを表示 (00-99)。 (TZ)



%h	%b と等価 (SU)
%Н	24 時間表記での時 (hour)。 (00-23)
%	12 時間表記での時 (hour)。 (01-12)
%i	年の初めから通算の日数。(001-366)
	24 時間表記での時(0-23)。 1 桁の場合には前にゼロでなくスペースが置かれる。
%k	(%H も参照) (TZ)
0/1	12 時間表記での時 (0-12)。 1 桁の場合には前にゼロでなくスペー スが置かれる。
%1	(%I も参照) (TZ)
%m	月 (10 進数表記)。 (01-12)
%M	分 (10 進数表記) (00-59)
%n	改行。 (SU)
%0	別形式を使用する際の修飾子。以下を参照。(SU)
0/ 12	現在のロケールにおける「午前」「午後」に相当する文字列。英語の場合には "AM" ま
%P	たは "PM" となる。正午は「午後」、真夜中は「午前」として扱われる。
0/ D	%p と同様であるが小文字が使用される。英語の場合には "am" や "pm"となる。
/0F	(GNU)
%r	午前・午後形式での時刻。 POSIX ロケールでは %I:%M:%S %p と等価である。(SU)
%R	24 時間表記での時刻、秒は表示しない(%H:%M)。秒を含んだものは以下の %T を
7011	参照すること。(SU)
%s	紀元(1970年1月1日 00:00:00 UTC)からの秒数。(TZ)
%S	秒 (10 進数表記)(00-60)(時々ある閏秒に対応するため、値の範囲は 60 までとなっ
,	ている)
%t	
%	24 時間表記の時間 (%H:%M:%S) (SU)
%u	週の何番目の日(10 進数表記)か。月曜日を 1 とする(1-7)。 %w も参照。(SU)
%U	年の初めからの通算の週数(10 進数表記)(00-53)。その年の最初の日曜日を、第 1
	過の始まりとして計算する。 %V と %W も参照すること。
0/1/	ISU 8601:1988 形式での年の始めからの過数(IU 進数表記)(UU-53)。その年に少な
% V	くこも 4 日以上召まれる取初の週を 1 こして計算する。週の始まりは月唯日とす スーの11 ト の100 ナ 安昭士 ススト
0/14/	る。 20 C 2011 ものに 30 c 2011 -
70 VV	週の門番日の口(IO 進鉄衣記)が。口唯口を 0 こりる。(0-0)。 %U も参照。(SU) 左の初めからの通答の囲粉(10 進粉ま記)(00 52) この左の早初の日曜日た。 笠 1
%W	牛の初めからの通昇の過数(10 進数衣記)(00-55)。その牛の取初の月唯口を、先 1 调の始まれとして計算する
%×	超の対よりとして計算する。 現在のロケールで一般的な日付実記 時刻け今まない
%X	現在のロケールで一般的な時刻表記。日気は日本ない。
%v	一元世の日
%Y	世紀部分を含めた(4 桁の)西暦年.
	タイムゾーンの GMT へのオフセット時間。 RFC 822 形式の日時に必要である.
%z	("%a. %d %b %Y %H:%M:%S %z" として使用する)_(GNU)
%Z	タイムゾーンまたはゾーン名または省略名。
%+	date(1) 形式での日時。(TZ) (glibc2 ではサポートされていない)
%%	'%' 文字。

(例)

PLC 収集時刻通知フォーマット %FT%T+9:00 の場合

2021年10月1日1時1分1秒

%F T %T +9:00 %Y-%m-%d、文字列"T"、%H:%M:%S、文字列"+9:00" として変換 "2021-10-01T01:01+9:00" が格納されます。

・接続確認先設定

	項目	説明	備考
--	----	----	----



ICM サーバー名	ネットワークの疎通を確認するサーバー名を入力しま	設定不可
	す。	

設定値を入力したら、"次へ"をクリックします。



4.2.4. 初期設定④

ゲートウェイの下位側の LAN 設定は固定です。この画面では設定は出来ません。

初期設定 設定1~4まで順番	に設定して下さい。		
0	2	3	4
初期設定①	初期設定②	初期設定③	初期設定④
	下位接続LAN設定		
	LAN設定		
	IPアドレス	(半角で入力して下さい	例:192.168.10.1)
	192.168.253.253		
	サブネットマスク	(半角で入力して下さい	例:255.255.255.0)
	255.255.255.0		
			保存次へ戻る

設定値を入力したら、"保存"をクリックします。 (保存だけでは設定項目は反映されません。)



4.3. デバイス設定

接続するデバイスの設定をすることができます。

4.3.1. デバイス設定

接続するデバイスの通信方式などを設定することができます。

4.3.1.1. 設定値の入力

セルをクリックして、設定値を入力・選択してください。 右クリックメニューより、行の追加・削除などが選択できます。 入力時にセルが赤色になっているものは設定不可能な値です。設定値を変更してください。

これらの注釈は、"▼ 詳細]説明"をクリッ	ヮクすること	で確認できます。
---------------	----------	--------	----------

テノ	(イノ設定

バイス設定	き プロトコル	接続設定 サ	ンプリングデバイス設定	クラウドとのタグ設定
接続するデ	バイスの設定をし	て下さい。		
1	CSVからのインオ	;−ト 🕹 C:	svへのエクスポート	
▼ 詳細	説明			
	デバイスNo	プロトコル	ユニット名	バージョン
1	1~8			

デバイス設定	
項目	説明
デバイス No	デバイス No を入力します。
プロトコル	PLC との通信プロトコル「MC プロトコル」、「MC プロトコル
	シリアル」「FINS コマンド」、「KEYENCE 上位リンク」、
	「MODBUS TCP」、「MODBUS RTU」、「MODBUS ASCII」を
	選択します。
	「MC プロトコル シリアル」、「MODBUS RTU」と「MODBUS
	ASCII」は複数選択できません。
ユニット名	ゲートウェイと接続するデバイスのユニット名を入力します。
	任意な文字列を割り当てることができます。
	重複しない値を入力してください。
バージョン	クラウドとのタグ時のバージョン情報として使用します。 データ
	内容を変更する際に併せて変更してください。





4.3.2. プロトコル設定

各プロトコルの設定をすることができます。

4.3.2.1. 設定値の入力

セルをクリックして、設定値を入力・選択してください。 右クリックメニューより、行の追加・削除などが選択できます。 入力時にセルが赤色になっているものは設定不可能な値です。設定値を変更してください。 これらの注釈は、"▼ 詳細説明"をクリックすることで確認できます。

4.3.2.2. 三菱電機(MELSEC)

F/11	設止										
デバイス設定	プロトコル接続	転送 サンプリン	ッグデバイス設定 クラ	ラウドとのタグ設定							
設定するデ	「イスNo.を選択し、	プロトコルの接続設立	でをして下さい。								
デバイスNo	1 : мсプロトコル	: test 🔻 🚨 CS	Vからのインポート	🛓 CSVへのエク	マスポート						
▼ 3¥882	2.6 <u>11</u>										
	読み取り周期[8]	IPアドレス	报続対象ボート番号	GWボート番号	接続プロトコル	MELSECプロトコル	局番	監視タイマ [ms]	タイムアウト時間 [s]	PING確認	確認結果
1	1~99999			any			0~31	1~65535	8	確認	

プロトコル接続設定	
項目	説明
読み取り周期[s]	PLC のデータの読み取り周期(1~99999)[s]を設定します。
IP アドレス	PLC の IP アドレスを指定します。
接続対象ポート番号	接続する PLC のポート番号(0~65535)を入力します。
GW ポート番号	データを受け取る際のゲートウェイのポートを指定します。
	ゲートウェイ側のポート番号('any',0~65535)を入力します。
	"any"の場合は OS が自動的に設定するポートを使用します。
接続プロトコル	PLC との通信方法「UDP」、「TCP」を選択します。
MELSEC プロトコル	MELSEC のプロトコル情報を設定します。
	使用している PLC のモデルに合わせて設定してください。
	A 互換 1E フレーム使用時は"1E"、
	QnA 互換 3E フレーム使用時は"3E"を設定します。
局番	ゲートウェイと接続する PLC に局番(0~31)を割り当てます。
監視タイマ(×250)[ms]	CPU 処理完了を待つ時間(1~65535)を設定します。
	設定値(×250)[ms]が実際の監視タイマ時間になります。
タイムアウト時間[s]	応答を待つ時間(2~30)を設定します。
	デフォルト値は8です。
PING 確認	入力した IP アドレスに対して PING 確認を実施します。
確認結果	PING 確認結果を表示します。(成功:Success,失敗:Failure)





● GX Works2 の設定との関連性

GX Works2 の設定とプロトコル接続設定の内容を合わせておく必要があります。

■内蔵 Ethernet ポートに接続

GX Works2 プロジェクトビュー – パラメータ – PC パラメータ 画面にて下記の設定 を行ってください。また、本製品側の設定を合わせてください。

(GX Works2 PC パラメータ 画面)



(注意点) MELSEC-Q シリーズの例です。他シリーズ、他ツールでは設定 方法が異なる場合がございます。



■Ethernet ユニットに接続

GX Works2 プロジェクトビュー – パラメータ – ネットワークパラメータ – Ethernet/CC IE / MELSECNET 画面にて下記の設定を行ってください。また、本製品側の 設定を合わせてください。

(GX Works2 Ethernet/CC IE / MELSECNET 画面)

例:ユニット2 に Ethernet ユニットがある場合



⁽注意点) MELSEC-Q シリーズの例です。他シリーズ、他ツールでは設定 方法が異なる場合がございます。



● GX Works3 の設定との関連性

GX Works3 の設定とプロトコル接続設定の内容を合わせておく必要があります。

■内蔵 Ethernet ポートに接続

GX Works3 プロジェクトビュー – パラメータ – ユニット形名 – ユニットパラメータ

- Ethernet ポート - 基本設定 - 自ノード設定 画面にて下記の設定を行ってください。ま

た、本製品側の設定を合わせてください。

(GX Works3 ユニットパラメータ Ethernet ポート画面)





デバイス	設定								
デバイス設定	プロトコル接続	設定 サンプリン	グデバイス設定 クラ	ウドとのタグ設定					
設定するデ	、 イスNo.を選択し、	プロトコルの接続設定を	をして下さい。						
デバイスNo	. <mark>1 : MCלם / בוו</mark>	: melsec 🗸 🚨 🕻	CSVからのインポート	▲ CSVへの	エクスポート				
▼ 詳細語	<u> </u>								
	読み取り周期 [s]	IPアドレス	接続対象ポート番号	GWポート番号	接続プロトコル	MELSECプロトコル	局番	監視タイマ [ms]	
1	15	192, 180, 5, 102	· · · · ·	19 1	UDP	3E	0	16	

(注意点) MELSEC-FX シリーズの例です。他シリーズ、他ツールでは設 定方法が異なる場合がございます。

■Ethernet ユニットに接続

GX Works3 プロジェクトビュー – パラメータ – ユニット情報 – FX5ENET or FX5-ENET/IP – 基本設定 – 自ノード設定 画面にて下記の設定を行ってください。また、本製 品側の設定を合わせてください。

(GX Works3 FX-5ENET ユニットパラメータ 画面)





Ethernet構成	(装着位置No.: 1[U1])													- 0
thernet構成(N)	編集(E) 表示(V) 設力	Eを破棄して閉じる(A)	設定を反映して	閉じる(R)										:
														: ユーフト一見 Fthernet選択 コニット検索 しお気に入りし
接続台数(現	[在/上限]: 1/32													
N-	IL.O	77/0 # 60	701-711	固定バッファ	シーク	いサ		1	センサ・機器		1		生存	□ Ethernet機器(汎用)
NO.	π≈+6	×18于49	JUPUN B	受信設定	IPアドレス	ボート番号	MACアドレス	ホスト名	IPアドレス	ボート番号	サブネットマスク	デフォルト ゲートウェイ	確認	MELSOFT接続機器 - - SLMP接続機器 -
9 1	自局 SIMP接续掷器	SIMP	LIDP		192.168.3.251	20000							生在	UDP接続機器 -
< 	コネクジョン Iboj SLMP SLMPREE												>	ビロマロコンを研究機器 - ・ ・ ・
本製品	品 プロト	コル接	続設分	定	画面)									
デバイ	、設定													
デバイス	設定 プロトコ	コル接続設定	サンフ	プリングラ	デバイス設定	クラ	ウドとのタグ設定							
設定する	るデバイスNo.を選	択し、プロト	コルの接続	設定をし	て下さい。									
=15.25				1 (5)	them.	#- N	+ CSVAD	T77#						
FN1,		1, 1/C : we	Sec •	- 001	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	an tr								
	詳細説明							+						
	読み取り周期	fi[s] IF	アドレス		接続対象ポ	ート番号	GWポート番号	接続プロトコル	MELSEC	JIL	局番	監視タイマ	[ms]	
	1 15	19	180.5.00	2			10.1	UDP	3E		0	16		

(注意点) MELSEC-FX シリーズの例です。他シリーズ、他ツールでは設 定方法が異なる場合がございます。

4.3.2.3. Modbus TCP

ハイス	設定					
デバイス設定	プロトコル接続	設定 サンプリ	ングデバイス設定	クラウドとのタグ設定		
設定するデ/	(イスNo.を選択し、フ	プロトコルの接続設?	定をして下さい。			
デバイスNo	1 : MODBUS TCP	test 🔨 🚨 CS	Vからのインポート	🕹 CSVへのエクス	マポート	
	188					
▼ 詳細設	<u>694</u>					
▼ 詳細設	294 読み取り周期 [s]	IPアドレス	GWポート番号	タイムアウト時間 [s]	PING確認	確認結果

プロトコル接続設定	
項目	説明
読み取り周期[s]	PLC のデータの読み取り周期(1~99999)[s]を設定します。
IP アドレス	PLC の IP アドレスを指定します。



GW ポート番号	未使用
タイムアウト時間[s]	応答を待つ時間(2~30)を設定します。
	デフォルト値は8です。
PING 確認	入力した IP アドレスに対して PING 確認を実施します。
確認結果	PING 確認結果を表示します。(成功:Success,失敗:Failure)

4.3.2.4. FINS コマンド

デバイス設定 デバイス設定 プロトコル機能度 サンプリングデバイス設定 クラウトとのタグ設定

設定するデバイスNo.を選択し、プロトコルの接続設定をして下さい。 デバイスNo. 1: FINSコマンド: test * 🕹 CSVからのインボート 🗟 CSVへのエクスボート

▼ 詳細	説明												
	読み取り周期[s]	IPアドレス	接続対象ポート番号	接続プロトコル	相手先ネットワークアドレス	相手先ノードアドレス	相手先号機アドレス	発行元ネットワークアドレス	発行元ノードアドレス	発行元号機アドレス	タイムアウト時間[0]	PING確認	確認結果
1	1~99999				00,01~7F	00,01~FE	00,10~1F,E1	00,01~7F	00,01~FE	00,10~1F,E1	8	Nez	

プロトコル接続設定	
項目	説明
読み取り周期[s]	PLC のデータの読み取り周期(1~99999)[s]を設定します。
IP アドレス	PLC の IP アドレスを指定します。
接続対象ポート番号	接続する PLC のポート番号(0~65535)を入力します。
接続プロトコル	PLC との通信方法「UDP」、「TCP」を選択します。
相手先ネットワークア	相手先ネットワークアドレス(00,01~7F)を割り当てます。
ドレス	
相手先ノードアドレス	相手先ノードアドレス(00,01~FE)を割り当てます。
相手先号機アドレス	相手先号機アドレス(00,10~1F,E1)を割り当てます。
発行元ネットワークア	発行元ネットワークアドレス(00,01~7F)を割り当てます。
ドレス	
発行元ノードアドレス	発行元ノードアドレス(00,01~FE)を割り当てます。
発行元号機アドレス	発行元号機アドレス(00,10~1F,E1)を割り当てます。
タイムアウト時間[s]	応答を待つ時間(2~30)を設定します。
	デフォルト値は8です。
PING 確認	入力した IP アドレスに対して PING 確認を実施します。
確認結果	PING 確認結果を表示します。(成功:Success,失敗:Failure)



4.3.2.5. KEYENCE 上位リンク

デバイス	設定						
デバイス設定	プロトコル接続	設定 サンプリ	ングデバイス設定 クラウ	ウドとのタグ設定			
設定するデ	、 (イスNo.を選択し、フ	プロトコルの接続設	定をして下さい。				
デバイスNo	1:KEYENCE 上位	リンク:test 『	▲ CSVからのインポート	🛓 csv~a	のエクスポート		
▼ 詳細語	明						
	読み取り周期[s]	IPアドレス	接続対象ポート番号	接続プロトコル	タイムアウト時間 [s]	PING確認	確認結果
1	1~99999				8	確認	

PLC 設定	
項目	説明
読み取り周期[s]	PLC のデータの読み取り周期(1~99999)[s]を設定します。
IP アドレス	PLC の IP アドレスを指定します。
接続対象ポート番号	接続する PLC のポート番号(0~65535)を入力します。
接続プロトコル	PLC との通信方法「UDP」、「TCP」を選択します。
タイムアウト時間[s]	応答を待つ時間(2~30)を設定します。
	デフォルト値は8です。
PING 確認	入力した IP アドレスに対して PING 確認を実施します。
確認結果	PING 確認結果を表示します。(成功:Success,失敗:Failure)



4.3.2.6. 三菱電機(MELSEC シリアル)

デバイス設定

デバイス設定	プロトコル接続	競定 サンプ	リングデバイス	設定 クラウドと	このタグ設定							
設定するデバ	イスNo.を選択し、	プロトコルの接続	設定をして下さ	~) _°								
デバイスNo.	1:MCプロトコル	レシリアル:test	CSV;	からのインボート	🛓 CSV/	のエクスポート						
▼ 詳細説	明											
	読み取り周期 [s]	ボーレート	データ長	ストップビット	パリティ	フロー制御	インターフェース	MELSECプロトコル	伝送形式	サムチェック	監視タイマ [ms]	タイムアウト時間 [s]
1	1~99999										0~15	8

プロトコル接続設定	
項目	説明
読み取り周期[s]	PLC のデータの読み取り周期(1~99999)[s]を設定します。
ボーレート	ボーレート「4800bps」、「9600bps」、「19200bps」、「38400bps」、
	「57600bps」、「115Kbps」を選択します。
データ長	データ長「7bit」、「8bit」を選択します。
ストップビット	ストップビット「1bit」、「2bit」を選択します。
パリティ	パリティ「なし」、「奇数」、「偶数」を選択します。
フロー制御	フロー制御「なし」(固定)を選択します。
インターフェース	インターフェース「RS-232C」、「RS-485 Half Duplex」、「RS-
	485/RS-422 Full Duplex」を選択します。
MELSEC プロトコル	MELSEC のプロトコル情報を設定します。
	使用している PLC のモデルに合わせて設定してください。
	A 互換 1C フレーム使用時は"1C"、
	QnA 互換 3C フレーム使用時は"3C"
	を設定します。
伝送形式	伝送形式を設定します。
	使用している PLC の設定に合わせてください。
	「形式 1_8 進」、「形式 1_16 進」、「形式 4_8 進」、「形式 4_16 進」
	を選択します。
サムチェック	サムチェック「有効」、「無効」を選択します。
監視タイマ(×10)[ms]	コマンドを受信後、送信するまでの待ち時間(0~15)を指定しま
	す。
	設定値(×10)[ms]が実際のタイマ時間になります。
	※MELSECプロトコル"1С"の場合のみ有効。
タイムアウト時間[s]	応答を待つ時間(2~30)を設定します。
	デフォルト値は8です。





4.3.2.7. Modbus RTU, Modbus ASCII

テハイメ	設正							
デバイス設定	プロトコル接続	売設定 サンプ	リングデバイス	設定 クラウドる	とのタグ設定			
設定するデ	(イスNo.を選択し、 1・MODBUS PT	プロトコルの接続	設定をして下さ	₩. ₩ . . .	SVA DT /7	7-1-1-1		
	tin tin		0.001.0001.0		55V (0)1 //			
	読み取り周期 [s]	ボーレート	データ長	ストップビット	パリティ	フロ <mark>ー</mark> 制御	インターフェース	タイムアウト時間 [s]
								12

[設定項目]

PLC 設定	
項目	説明
読み取り周期[s]	PLC のデータの読み取り周期(1~99999)[s]を設定します。
ボーレート	ボーレート「4800bps」、「9600bps」、「19200bps」、「38400bps」、
	「57600bps」、「115Kbps」を選択します。
データ長	データ長「7bit」、「8bit」を選択します。
ストップビット	ストップビット「1bit」、「2bit」を選択します。
パリティ	パリティ「なし」、「奇数」、「偶数」を選択します。
フロー制御	フロー制御「なし」(固定)を選択します。
インターフェース	インターフェース「RS-232C」、「RS-485 Half Duplex」、「RS-
	485/RS-422 Full Duplex」を選択します。
タイムアウト時間[s]	応答を待つ時間(2~30)を設定します。
	デフォルト値は8です。

4.3.2.8. CSV のインポート、エクスポート

「5.1 CSV のインポート、エクスポートについて」を参照してください。



4.3.3. サンプリングデバイス設定

ゲートウェイが読み取るデバイスのメモリマップを設定することができます。

4.3.3.1. 設定値の入力

セルをクリックして、設定値を入力・選択してください。 右クリックメニューより、行の追加・削除などが選択できます。 入力時にセルが赤色になっているものは設定不可能な値です。設定値を変更してください。 PLC 設定で局番を削除した場合、対象局番の設定も自動で削除されます。 登録可能な最大数は 100 です。

これらの注釈は、"▼ 詳細説明"をクリックすることで確認できます。

4.3.3.2. 三菱電機(MELSEC)

デバイス	设定			
デバイス設定	プロトコル接続設定	サンプリングデバイス設	定 クラウドとの	タグ設定
サンプリング	するデータの設定をして	下さい。		
デバイスNo.1	: MCプロトコル : test	▲ CSVからのインポート	🛓 CSV^ത∃	Eクスポート
▼ 詳細説問	8			
	デバイスコード	開始アドレス	アクセスタイプ	要素数
1		0~65535, 0~FFFI		1~50

サンプリングデバイス設	定
項目	説明
デバイスコード	PLC へのアクセスする際のデバイスコードを指定します。
	プロトコル接続設定で選択した MELSEC プロトコルに対応し
	たデバイスが選択可能です。
開始アドレス	データの読み取り開始アドレスを設定します。
	デバイスコードのデータ表現により、10進数/16進数で入力
	します。詳しくはエラー! 参照元が見つかりません。 エラー! 参
	照元が見つかりません。 を参照ください
アクセスタイプ	データを読み出す単位「WORD」、「BIT」を設定します。
要素数	アドレス+(要素数-1)がアドレス範囲の最大を超えないように
	設定してください。1~50 までです。



4.3.3.3. Modbus TCP

バイス設定	プロトコル	接続設定	サンプリング	デバイス設定	クラウドとのタグ	設定
サンプリン?	ブするデータの設	定をして下る	さい。			
15 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15				anna an bhlia	(a)	100
デバイスNo <u>▼ 詳細討</u>	. 1:MODBUS TC 初月	P : test	。 CSVからのイ	ンポート	🛓 CSVへのエクス	ポート
デバイスNo <u>▼ 詳細</u> 診	.1:MODBUS TC <u>明</u> 局番	ア : test 1	: CSVからのイ クションコード	ンポート 開始アドレ	 CSVへのエクス ス 要素数 	ボート

サンプリングデバイス	設定
項目	説明
局番	ゲートウェイに通知する PLC の局番を設定します。
ファンクションコード	PLC へのアクセスする際のファンクションコードを選択します。
	設定したファンクションコードに従って、PLC は指定された機能
	を実行します。
	1 : read coils
	Discrete Output の ON/OFF 状態を読出します。
	2 : read discrete inputs
	Discrete Input の ON/OFF 状態を読出します。
	3 : read holding registers
	保持レジスタの内容を読出します。
	4 : read input registers
	入力レジスタの内容を読出します。
開始アドレス	データの読み取り開始アドレスを設定します。
	10 進数で入力します。
要素数	アドレス+(要素数-1)がアドレス範囲の最大を超えないように設
	定してください。1~50 までです。



4.3.3.4. FINS コマンド

バイス設定					
デバイス設定 プロトコル接続調	定 サンプリングデバイス設立	クラウドとのタグ設定			
サンプリングするデータの設定をL	て下さい。				
デバイスNo.1:FINSコマンド:tes	st 🚨 CSVからのインボート	▲ CSVへのエクスボート			
▼ 詳細説明					
τIJ	ア種別 データ	重類 開始アドレス	フラグ名	ビット指定	要素数
1		0~65535		0~15	1~50 または 1~16

サンプリングデバイス設	定
項目	説明
エリア種別	PLC へのアクセスする際のエリア種別を選択します。
データ種類	データ種類を選択します。
	エリア種別によって、選択できる種類が異なります。
開始アドレス	データの読み取り開始アドレスを設定します。
	10 進数で入力します。
フラグ名	フラグ名を設定します。
	エリア種別によって、選択できるようになります。
ビット指定	ビット指定を設定します。
	エリア種別、データ種類によって設定できるようになります。
要素数	アドレス+(要素数-1)がアドレス範囲の最大を超えないように
	設定してください。1~50 または 1~16 までです。
	ビット指定有効時は、ビット指定+要素数が 16 を超えないよ
	うに設定してください。



4.3.3.5. KEYENCE 上位リンク

デバイス語	设定		
デバイス設定	プロトコル接続設定	サンプリングデバイス設定	クラウドとのタグ設定
サンプリング デバイスNo. 1	するデータの設定をして下: : KEYENCE 上位リンク:t	さい。 est 1 CSVからのインボー	ト 🛓 CSVへのエクスポート
_* sT#48/07	デバイス	開始アドレス	要素数
1		0~9999999、0~ FFFFFF	1~50

サンプリングデバイス設定				
項目	説明			
デバイス	PLC へのアクセスする際のデバイスを選択します。			
開始アドレス	データの読み取り開始アドレスを設定します。			
	10 進数または 16 進数で入力します。			
要素数	アドレス+(要素数-1)がアドレス範囲の最大を超えないように			
	設定してください。1~50 までです。			



4.3.3.6. 三菱電機(MELSEC シリアル)

バイス設定	Johanus	接続設定 サンス	プリングデバイス設定	クラウドと	のタグ設定	
デバイスNo. ▼ 詳細訪	.1:MCプロトコノ 細	レシリアル:test	▲ CSVからのイン	*	CSVへのエクスオ	(
デバイスNo. ▼詳細訪	.1:MCプロトコノ ^{(明} 局番	レ シリアル : test デバイス⊐	▲ CSVからのインボ ード 開	ポート 🛓	CSVへのエクスオ	ペート 要素数

サンプリングデバイス設	定
項目	説明
局番	ゲートウェイに通知する PLC の局番を設定します。
デバイスコード	PLC へのアクセスする際のデバイスコードを指定します。
	プロトコル接続設定で選択した MELSEC プロトコルに対応し
	たデバイスが選択可能です。
開始アドレス	データの読み取り開始アドレスを設定します。
	デバイスコードのデータ表現により、10進数/16進数で入力
	します。詳しくはエラー! 参照元が見つかりません。 エラー! 参
	照元が見つかりません。 を参照ください
アクセスタイプ	データを読み出す単位「WORD」、「BIT」を設定します。
要素数	アドレス+(要素数-1)がアドレス範囲の最大を超えないように
	設定してください。1~50 までです。



4.3.3.7. Modbus RTU, Modbus ASCII

サンプリングするデータの設定をして下さい。 デバイスNo.1: MODBUS RTU: test CSVからのインポート	デバイス設定	プロトコル	接続設定	サンプリングラ	デバイス設定	クラウドとのタグ	設定
▼詳細説明 局番 ファンクションコード 開始アドレス 要表数	サンプリング	ブするデータの設	定をして下る	さい。			
	デバイスNo.	1 : MODBUS RT	'U : test 🛓	CSVからのイ	ンポート	🛓 CSVへのエクス	ポート

[設定項目]

サンプリングデバイス設定					
項目	説明				
局番	ゲートウェイに通知する PLC の局番を設定します。				
ファンクションコード	PLC へのアクセスする際のファンクションコードを選択します。				
	設定したファンクションコードに従って、PLC は指定された機能				
	を実行します。				
	1 : read coils				
	Discrete Output の ON/OFF 状態を読出します。				
	2: read discrete inputs				
	Discrete Input の ON/OFF 状態を読出します。				
	3: read holding registers				
	保持レジスタの内容を読出します。				
	4 : read input registers				
	入力レジスタの内容を読出します。				
開始アドレス	データの読み取り開始アドレスを設定します。				
	10 進数で入力します。				
要素数	アドレス+(要素数-1)がアドレス範囲の最大を超えないように設				
	定してください。1~50 までです。				

4.3.3.8. CSV のインポート、エクスポート

「5.1 CSV のインポート、エクスポートについて」を参照してください。



4.3.4. クラウドとのタグ設定

クラウドへアップロードする際の設定をすることができます。

4.3.4.1. 設定値の入力

セルをクリックして、設定値を入力・選択してください。 右クリックメニューより、行の追加・削除などが選択できます。 開始アドレスとインデックスを加算した値がアップロード対象のアドレスとなります。 入力時にセルが赤色になっているものは設定不可能な値です。設定値を変更してください。 登録可能な最大数は 200 です。

これらの注釈は、"▼ 詳細説明"をクリックすることで確認できます。

4.3.4.2. 三菱電機(MELSEC)

バイス設	定											
「バイス設定	プロトコル接続設定	サンプリングデバイス	い設定 クラウドと	のタグ間	涟							
クラウドヘアッ	ノプロードするデータの設	定をして下さい。										
デバイスNo.1:	: MCプロトコル : test	☞ サンプリング登録	したデータを全て追	50	L CSVからのインボート	▲ CSV<03	ビクスボート					
▼ 詳細説明												
	データ名	スケーラー	係数 オン	セット	億	デバイスコード	開始アドレス	インデックス	アクセスタイプ	データ型	バイトオーダー	文字列数(WORD数)
1								0~49				1~50

クラウドとのタグ設定	
項目	説明
データ名	クラウドへアップロードするデータのデータ名を設定します。
	設定したデータ名でクラウドへアップロードされます。
	重複しないデータ名を入力してください。
スケーラー	データを計算する処理(乗算、除算)を設定します。
係数	スケーラーの係数を設定します。
	スケーラーが未設定の場合は1になります。
オフセット	データを計算する処理(加算、減算)を設定します。
値	オフセットの値を設定します。
	オフセットが未設定の場合は0になります。
デバイスコード	サンプリングデバイス設定に設定したデバイスコードを選択し
	ます。
	サンプリングデバイス設定に設定していないデバイスコードを
	設定すると保存時にエラーになります。
開始アドレス	前項 デバイスコードが一致する、サンプリングデバイス設定に
	設定した開始アドレスを設定します。
	前項 デバイスコードと一致しない、または、サンプリングデバ
	イス設定に設定していない開始アドレスを設定すると保存時に



	エラーになります。
	デバイスコードと開始アドレスで一意に決まります。
インデックス	前項 デバイスコードと開始アドレスが一致する、サンプリング
	デバイス設定に設定した要素数の範囲内で設定します。
	範囲は、0から要素数-1までの値となります。
	要素数以上の値を設定すると保存時にエラーになります。
アクセスタイプ	未使用
データ型	クラウドへアップロードするデータのデータ型を設定します。デ
	ータ型ごとにサイズと数値の範囲が異なります。
	INT16:符号付き 16bit 整数(-32768~32767)
	UINT16:符号なし 16bit 整数(0~65535)
	INT32:符号付き 32bit 整数(-2147383648~2147483647)
	UINT32:符号なし 32bit 整数(0~4294967295)
	FLOAT:32bit 単精度実数(±10^-38~10^38)
	BIT:符号なし 16bit 整数(0~1)
	STRING:文字列
バイトオーダー	データ型が"STRING"のバイトオーダーを設定します。
	・リトルエンディアン
	・ビッグエンディアン
文字列数(WORD 数)	文字列数(1~50)を設定します。

設定可否の条件

設定するデバイスコード、開始アドレス、インデックス、データ型により設定の可能、不可 能があります。詳しくは**エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりませ** ん。を参照ください。



4.3.4.3. Modbus TCP

デバイス設定	Ē										
デバイス設定	プロトコル接続設定	サンプリングデバイス設	定 クラウドとの	タグ設定							
クラウドヘアップ	ロードするデータの設	定をして下さい。									
デバイスNo.1:N	ODBUS TCP : test	図 サンプリング登録しま	こデータを全て追加	▲ CSVからの	インボート	▲ CSVへのエクスポート					
▼ 詳細説明											
	データ名	スケーラー	係数 オフセ	ット 値	局番	ファンクションコード	開始アドレス	インデックス	データ型	バイトオーダー	文字列数(WORD数)
1					1~255		1~65535	0~49			1~50

クラウドとのタグ設定	
項目	説明
データ名	クラウドへアップロードするデータのデータ名を設定します。
	設定したデータ名でクラウドへアップロードされます。
	重複しないデータ名を入力してください。
スケーラー	データを計算する処理(乗算、除算)を設定します。
係数	スケーラーの係数を設定します。
	スケーラーが未設定の場合は1になります。
オフセット	データを計算する処理(加算、減算)を設定します。
値	オフセットの値を設定します。
	オフセットが未設定の場合は0になります。
局番	クラウドへアップロードする PLC の局番を設定します。
ファンクションコード	クラウドへアップロードするファンクションコードを選択しま
	す。設定したファンクションコードに従って、PLC は指定され
	た機能を実行します。
	1 : read coils
	Discrete Output の ON/OFF 状態を読出します。
	2 : read discrete inputs
	Discrete Input の ON/OFF 状態を読出します。
	3 : read holding registers
	保持レジスタの内容を読出します。
	4 : read input registers
	入力レジスタの内容を読出します。
	5 : write single coil
	Discrete Output の ON/OFF 状態を書き込みます。
	6 : write single register
	保持レジスタの内容を書き込みます。
開始アドレス	クラウドへアップロードするデータの読み取り開始アドレスを



	設定します。開始アドレスとインデックスの設定値によって、ア
	ップロード対象のアドレスを設定します。
	10 進数で入力します。
インデックス	クラウドヘアップロードするデータのインデックス(0~49)を入
	力します。
	サンプリングデバイス設定で登録した要素数の範囲で設定して
	ください。
データ型	クラウドへアップロードするデータのデータ型を設定します。デ
	ータ型ごとにサイズと数値の範囲が異なります。
	INT16:符号付き 16bit 整数(-32768~32767)
	UINT16:符号なし 16bit 整数(0~65535)
	INT32:符号付き 32bit 整数(-2147383648~2147483647)
	UINT32:符号なし 32bit 整数(0~4294967295)
	FLOAT:32bit 単精度実数(±10^-38~10^38)
	STRING:文字列
バイトオーダー	データ型が"STRING"のバイトオーダーを設定します。
	・リトルエンディアン
	・ビッグエンディアン
文字列数(WORD 数)	文字列数(1~50)を設定します。



4.3.4.4. FINS コマンド

デバイス設定 デバイス設定 フロトコル圏転転 リンプリングデバイス転在 2050 Fと0のグ58年

クラクド・プリプロ・ドドをデーがの放きをして下さい。 デディズ和4、1784エランド:841 (ダーリンプリング登録したデーラを会て出版) よ CSVからのインボート (本 CSVへのエクスボート) 1.588888

T = 外名
 Z0 = ラー
 G
 Z0 = Z
 G
 Z0 = Z
 G
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z
 Z

クラウドとのタグ設定	
項目	説明
データ名	クラウドへアップロードするデータのデータ名を設定します。
	設定したデータ名でクラウドへアップロードされます。
	重複しないデータ名を入力してください。
スケーラー	データを計算する処理(乗算、除算)を設定します。
係数	スケーラーの係数を設定します。
	スケーラーが未設定の場合は1になります。
オフセット	データを計算する処理(加算、減算)を設定します。
値	オフセットの値を設定します。
	オフセットが未設定の場合は0になります。
エリア種別	クラウドへアップロードするエリア種別を選択します。
開始アドレス	データの読み取り開始アドレスを設定します。
	10 進数で入力します。
フラグ名	フラグ名を設定します。
	エリア種別によって、選択できるようになります。
データ種類	データ種類を選択します。
	エリア種別によって、選択できる種類が異なります。
ビット指定	ビット指定を設定します。
	エリア種別、データ種類によって設定できるようになります。
インデックス	クラウドヘアップロードするデータのインデックス(0~49 また
	は 0~15)を入力します。
	サンプリングデバイス設定で登録した要素数の範囲で設定して
	ください。
データ型	クラウドへアップロードするデータのデータ型を設定します。デ
	ータ型ごとにサイズと数値の範囲が異なります。
	INT16:符号付き 16bit 整数(-32768~32767)
	UINT16:符号なし 16bit 整数(0~65535)
	INT32:符号付き 32bit 整数(-2147383648~2147483647)
	UINT32:符号なし 32bit 整数(0~4294967295)
	BIT:符号なし 16bit 整数(0~1)



	STRING:文字列
バイトオーダー	データ型が"STRING"のバイトオーダーを設定します。
	・リトルエンディアン
	・ビッグエンディアン
文字列数(WORD 数)	文字列数(1~50)を設定します。

4.3.4.5. KEYENCE 上位リンク

バイス設	定											
バイス設定	プロトコル接続設定 サ	ンプリングデバイス語	たク	ラウドとのタグ設定								
フラウドヘアッ	プロードするデータの設定をし	て下さい。										
FバイスNo.1:	: KEYENCE 上位リンク : test	☞ サンプリング	登録したう	データを全て追加	▲ CSVから	iのインボート	🛓 CSVAO	エクスポート				
▼ 詳細説明												
	データ名	スケーラー	係数	オフセット	値	デバー	17	開始アドレス	インデックス	データ形式	バイトオーダー	文字列数(WORD数
								0~999999, 0~	0~49			1~50

クラウドとのタグ設定	
項目	説明
データ名	クラウドへアップロードするデータのデータ名を設定します。
	設定したデータ名でクラウドへアップロードされます。
	重複しないデータ名を入力してください。
スケーラー	データを計算する処理(乗算、除算)を設定します。
係数	スケーラーの係数を設定します。
	スケーラーが未設定の場合は1になります。
オフセット	データを計算する処理(加算、減算)を設定します。
值	オフセットの値を設定します。
	オフセットが未設定の場合は0になります。
デバイス	クラウドへアップロードするデバイスを選択します。
開始アドレス	データの読み取り開始アドレスを設定します。
	10 進数または 16 進数で入力します。
インデックス	クラウドヘアップロードするデータのインデックス(0~49)を入
	力します。
	サンプリングデバイス設定で登録した要素数の範囲で設定して
	ください。
データ形式	クラウドへアップロードするデータのデータ型を設定します。デ
	ータ形式ごとにサイズと数値の範囲が異なります。
	S:10 進数 16 ビット符号あり:符号付き 16bit 整数(-32768~
	32767)



	U:10 進数 16 ビット符号なし:符号なし 16bit 整数(0~65535)
	L:10 進数 32 ビット符号あり:符号付き 32bit 整数(-2147383648
	$\sim 2147483647)$
	D:10 進数 32 ビット符号なし:符号なし 32bit 整数(0~
	4294967295)
	ビット:符号なし 16bit 整数(0~1)
	文字列:文字列
バイトオーダー	データ形式が"文字列"のバイトオーダーを設定します。
	・リトルエンディアン
	・ビッグエンディアン
文字列数(WORD 数)	文字列数(1~50)を設定します。

4.3.4.6. 三菱電機(MELSEC シリアル)

デバイフ	く設定												
デバイス設け	を プロトコル接続設定	サンプリングデバイ	ス設定	クラウドとのタグ設定									
クラウドへ	アップロードするデータの設定	をして下さい。											
デバイスN	o.1:MCプロトコル シリアル	: test 🕼 サンプリ	ノング登録	したデータを全て追加	🛓 CSV	からのインボート	▲ CSVへのエクスポート						
▼ 詳細	説明												
	データ名	スケーラー	係数	オフセット	値	局番	デバイスコード	開始アドレス	インデックス	アクセスタイプ	データ型	バイトオーダー	文字列数(WORD数)
1						0~255		0~65535、0~FFFF	0~49				1~50

クラウドとのタグ設定	
項目	説明
データ名	クラウドへアップロードするデータのデータ名を設定します。
	設定したデータ名でクラウドへアップロードされます。
	重複しないデータ名を入力してください。
スケーラー	データを計算する処理(乗算、除算)を設定します。
係数	スケーラーの係数を設定します。
	スケーラーが未設定の場合は1になります。
オフセット	データを計算する処理(加算、減算)を設定します。
値	オフセットの値を設定します。
	オフセットが未設定の場合は0になります。
局番	クラウドへアップロードする PLC の局番を設定します。
デバイスコード	サンプリングデバイス設定に設定したデバイスコードを選択し
	ます。
	サンプリングデバイス設定に設定していないデバイスコードを



	設定すると保存時にエラーになります。
開始アドレス	前項 デバイスコードが一致する、サンプリングデバイス設定に
	設定した開始アドレスを設定します。
	前項 デバイスコードと一致しない、または、サンプリングデバ
	イス設定に設定していない開始アドレスを設定すると保存時に
	エラーになります。
	デバイスコードと開始アドレスで一意に決まります。
インデックス	前項 デバイスコードと開始アドレスが一致する、サンプリング
	デバイス設定に設定した要素数の範囲内で設定します。
	範囲は、0から要素数-1までの値となります。
	要素数以上の値を設定すると保存時にエラーになります。
アクセスタイプ	未使用
データ型	クラウドへアップロードするデータのデータ型を設定します。デ
	ータ型ごとにサイズと数値の範囲が異なります。
	INT16:符号付き 16bit 整数(-32768~32767)
	UINT16:符号なし 16bit 整数(0~65535)
	INT32:符号付き 32bit 整数(-2147383648~2147483647)
	UINT32:符号なし 32bit 整数(0~4294967295)
	FLOAT:32bit 単精度実数(±10^-38~10^38)
	BIT:符号なし 16bit 整数(0~1)
	STRING:文字列
バイトオーダー	データ型が"STRING"のバイトオーダーを設定します。
	・リトルエンディアン
	・ビッグエンディアン
文字列数(WORD 数)	文字列数(1~50)を設定します。

設定可否の条件

設定するデバイスコード、開始アドレス、インデックス、データ型により設定の可能、不可 能があります。詳しくは**エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりませ** ん。を参照ください。



4.3.4.7. Modbus RTU, Modbus ASCII

バイス設	定										
デバイス設定	プロトコル接続設定	サンプリングデバイス設定	クラウドとのタ	グ設定							
クラウドヘアップ	プロードするデータの設	定をして下さい。									
デバイスNo.1:	MODBUS RTU : test	◎ サンプリング登録した	データを全て追加	よ CSVからの	のインボート	▲ CSVへのエクスポート					
▼ 詳細説明											
	データ名	スケーラー	総数 オフセッ	ト値	局番	ファンクションコード	開始アドレス	インデックス	データ型	バイトオーダー	文字列数(WORD数)
4					1~/255		15-65525	0~40			150

クラウドとのタグ設定	
項目	説明
データ名	クラウドへアップロードするデータのデータ名を設定します。
	設定したデータ名でクラウドへアップロードされます。
	重複しないデータ名を入力してください。
スケーラー	データを計算する処理(乗算、除算)を設定します。
係数	スケーラーの係数を設定します。
	スケーラーが未設定の場合は1になります。
オフセット	データを計算する処理(加算、減算)を設定します。
値	オフセットの値を設定します。
	オフセットが未設定の場合は0になります。
局番	クラウドへアップロードする PLC の局番を設定します。
ファンクションコー	クラウドへアップロードするファンクションコードを選択しま
F	す。設定したファンクションコードに従って、PLC は指定され
	た機能を実行します。
	1 : read coils
	Discrete Output の ON/OFF 状態を読出します。
	2 : read discrete inputs
	Discrete Input の ON/OFF 状態を読出します。
	3 : read holding registers
	保持レジスタの内容を読出します。
	4 : read input registers
	入力レジスタの内容を読出します。
	5 : write single coil
	Discrete Output の ON/OFF 状態を書き込みます。
	6 : write single register
	保持レジスタの内容を書き込みます。
開始アドレス	クラウドへアップロードするデータの読み取り開始アドレスを


	設定します。開始アドレスとインデックスの設定値によって、ア
	ップロード対象のアドレスを設定します。
	10 進数で入力します。
インデックス	クラウドヘアップロードするデータのインデックス(0~49)を入
	力します。
	サンプリングデバイス設定で登録した要素数の範囲で設定して
	ください。
データ型	クラウドへアップロードするデータのデータ型を設定します。デ
	ータ型ごとにサイズと数値の範囲が異なります。
	INT16:符号付き 16bit 整数(-32768~32767)
	UINT16:符号なし 16bit 整数(0~65535)
	INT32:符号付き 32bit 整数(-2147383648~2147483647)
	UINT32:符号なし 32bit 整数(0~4294967295)
	FLOAT:32bit 単精度実数(±10^-38~10^38)
	STRING:文字列
バイトオーダー	データ型が"STRING"のバイトオーダーを設定します。
	・リトルエンディアン
	・ビッグエンディアン
文字列数(WORD 数)	文字列数(1~50)を設定します。

設定値を入力後、"保存"をクリックすることで設定値を保存します。

保存時はデバイス設定、プロトコル接続設定、サンプリングデバイス設定も同時に登録され ます。

※クラウドとのタグ設定が未登録の場合は空データが保存されます。

4.3.4.8. CSV のインポート、エクスポート

「5.1 CSV のインポート、エクスポートについて」を参照してください。



4.3.4.9. サンプリング登録したデータを全て追加

サンプリングデバイス設定で登録済みのアドレスを全て追加します。 追加する際は、登録済みのデータは全て初期化されます。

 (1)"サンプリング登録したデータを全て追加"をクリックしてサンプリング登録したデータ を全て追加ウインドウを開きます。

バイス設	定											
バイス設定	プロトコル接続設定	サンプリングデバイス設	定 クラウド	ドとのタグ設定								
クラウドヘアッフ	プロードするデータの設定を	をして下さい。										
デバイスNo.1:1	MCプロトコル: test	? サンプリング登録した	ミデータを全て	追加 土	CSVからのイン	ポート 🛓 CSVへのエ	クスポート					
▼ 詳細説明	L			_								
	データ名	スケーラー	係数 フ	オフセット	佢	デバイスコード	開始アドレス	インデックス	アクセスタイプ	データ型	バイトオーダー	文字列数(WORD数)
								0.40				4 74

②"はい"をクリックします。

	サンプリング登録したデータを全て追加		
「バイフ	サンプリングデバイス設定で登録済みのデータを全て追加します。 登録済みのデータは全て初期化されますが、追加しますか?		
クラウドへ		(tu	いいえ ンボー
🛓 CSV	へのエクスポート		



4.4. バックアップ

4.4.1. 設定内容のバックアップ

本体内の設定をお使いの PC 端末にエクスポートし、設定内容をバックアップします。 パスワードの紛失などの理由で工場出荷状態に戻した後、再設定が不要になります。 各種設定を変更した場合、バックアップをしておくことをお勧めします。

"実行"をクリックするとバックアップファイル(kesiotlogic_1.signed,kesiotlogic_2.signed, kesiotlogic_db_1.signed)をエクスポートします。



※ 取扱情報の性質上(コピー媒体の抑止観点)より、ほかキー類は、バックアップの対象よ り外しております。取扱には十分ご注意ください。



5. 共通操作

5.1. CSV のインポート、エクスポートについて

「4.3 デバイス設定」~「4.3.4 クラウドとのタグ設定」では、CSV ファイルのインポート、 エクスポートによる設定が可能です。

設定値を Excel ファイルなどでまとめたものがあれば、CSV ファイルを利用することで、 ブラウザ上で設定値を入力するよりも短時間で設定することができます。

CSV ファイルのフォーマットについては、下記のような手順でダミーの設定値を登録して、 エクスポートすることで確認することができます。

CS	SVからイ	ンポー	r								
-	ファイル	訳	apd_	ext.csv							
Z t	切り文字										
	カンマ										
文	字コード										
	UTF-8										
改行	行コード										
	LF										
cs	マファイル	プレビュ	— <u> </u>	面							
	データ 名	スケー ラー	係数	オフセ ット	値	デバイス コード	開始アド レス	インデッ クス	アクセス タイプ	データ 型	
1	sample1	NONE		NONE		D	100	1	WORD	UINT16	
2	sample2	NONE		NONE		D	100	2	WORD	UINT16	
3	sample3	NONE		NONE		D	100	3	WORD	UINT16	
4	sample4	NONE		NONE		D	100	4	WORD	UINT16	

① ダミーの設定値を登録します。

下記の設定でエクスポートします。

ファイル名	(半角で入力して1	さい)	
<u>plc_text</u>			
ファイ <mark>ル</mark> 形式			
CSV(カンマ区切り)(*.	csv)		
文字コード			
UTF-8(BOMあり)			
改行コード			
LF			
※宛行けテクスポート対色から	絵成士れ主す		

CSV ファイルの内容は以下の通りです。

1行目に設定項目、2行目以降に設定値が出力されます。



このフォーマットを参考にしてインポート用の CSV ファイルを作成することができます。 (dummy.csv)(例:デバイス設定)

デバイス No,プロトコル,ユニット名,バージョン 1,MC プロトコル,MC_Test1,Version1

5.1.1. CSV からのインポート

CSV ファイルを読み込んで、各種設定をすることができます。

① "CSV からのインポート"をクリックしてインポートウインドウを開きます。

バイス設定	E วีดหวม	接続設定	サンプリン	グデバイス設定	クラウドと	のタグ設定
接続するデ	バイスの設定をし	て下さい。				
1	SVからのインオ	(CSVAD:	エクスポート		
▼ 詳細	説明					
	デバイスNo	プロトコ	1)L	ユニット名	-71	ジョン
1	1~8					



② インポートするファイルを選択して"確認"をクリックします。

CSVからインポート	×
ファイル選択 sample_device_setting.csv	
区切り文字	
カンマ	
文字コード	
UTF-8	•
改行コード	
LF	
閉じる 確認 登録済みの設定に追加 登録済みの設定を」	:書き

③ CSVの設定内容がプレビューに表示されます。

"登録済みの設定に追加"をクリックすると、現在の設定にプレビューの内容が追加され ます。"登録済みの設定を上書き"をクリックすると、現在の設定を上書きして、プレビ ューの内容のみが設定されます。

R	ファイル器切	annala davian antina			
	ノアイル連択	sample_device_setting	.csv		
X	切り文字				
	カンマ				
文	字コード				
	UTF-8				
202	67-K				
	LF				
US	マファイルフレビコ デバイスNo	プロトコル	ユニット名	バージョン	
1	1	MCプロトコル	MC_Test1	Version1	
2	2	MODBUS TCP	MODBUS_TCP	Version3	



5.1.2. CSV からのインポート

現在の各種設定を CSV ファイルに出力することができます。

① "CSV へのエクスポート"をクリックします。

バイス設定	プロトコル	接続設定	サンプリング	デバイス設定	クラウドとのタグ設定
続するデバ	イスの設定をし	て下さい。			
📩 CS	Vからのインオ		。 CSVへのエ	クスポート	
▼ 詳細説	明				
	デバイスNo	プロトコ	06	ユニット名	バージョン

 保存するファイル名を入力して、文字コード、改行コードを選択して"エクスポート" をクリックします。

ファイル名	(半角で入力して下さい)	
sample_device_setting		
ファイル形式		
CSV(カンマ区切り)(*.c	sv)	
文字コード		
UTF-8(BOMあり)		
改行コード		
LF		
※空行はエクスポート対象から	除外されます。	



